

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2002-303813 (P2002-303813A)
 【公開日】平成 14 年 10 月 18 日 (2002.10.18)
 【出願番号】特願 2001-399705 (P2001-399705)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 B 26/10
 B 4 1 J 2/44
 G 0 3 G 15/01
 H 0 4 N 1/113
 H 0 4 N 1/23

【F I】

G 0 2 B	26/10	F
G 0 2 B	26/10	B
G 0 2 B	26/10	Z
G 0 3 G	15/01	S
G 0 3 G	15/01	1 1 2 A
H 0 4 N	1/23	1 0 3 C
B 4 1 J	3/00	M
H 0 4 N	1/04	1 0 4 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 4 月 26 日 (2004.4.26)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

画像の色平面を生成するシステムであって、
 光導電体 (1 1 3) に光学的に結合されるレーザ・ビーム (1 1 6) を生成するレーザ (1 0 3) を有するレーザ画像形成アセンブリ (3 0 0) であって、前記レーザ・ビーム (1 1 6) が、前記光導電体 (1 1 3) 上のいくつかの所定の位置に光学的に結合されるレーザ画像形成アセンブリ (3 0 0) と、
 前記レーザ画像形成アセンブリ (3 0 0) に動作可能に結合され、各々の前記所定の位置にランダム偏差 (R D) を生成するノイズ発生器 (3 0 3 、 3 0 6) と、
 を備えることを特徴とするシステム。

【請求項 2】

前記レーザ画像形成アセンブリ (3 0 0) が、さらに、固定構成要素 (1 0 3 、 1 0 9) を備え、前記ノイズ発生器 (3 0 3 、 3 0 6) が、前記固定構成要素 (1 0 3 、 1 0 9) に機械的に接続され、前記固定構成要素 (1 0 3 、 1 0 9) に加えられるランダムな機械的動きが、前記レーザ・ビーム (1 1 6) の光学経路を変化させることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記ノイズ発生器 (3 0 3 、 3 0 6) が、前記レーザ画像形成アセンブリ (3 0 0) 内の回転ポリゴン・ミラー (1 0 6) を駆動するポリゴン・ミラー駆動モータ (1 1 9) の駆動信号を変化させるノイズ信号発生器 (3 0 6) をさらに備え、それにより、前記レー

ザ・ビーム（１１６）の光学経路を変化させることを特徴とする請求項１に記載のシステム。

【請求項４】

前記ノイズ発生器（３０３、３０６）が、さらに、前記レーザ装置（１０３）に印加される制御信号を変調するノイズ信号発生器（３０６）を備えることを特徴とする請求項１に記載のシステム。

【請求項５】

前記ノイズ発生器（３０３、３０６）が、さらに、前記光導電体（１１３）を駆動する光導電体駆動モータ（１２３）に印加される駆動信号を変化させ、それにより前記ランダム偏差（ＲＤ）を生成するノイズ信号発生器（３０６）を備えることを特徴とする請求項１に記載のシステム。

【請求項６】

前記固定構成要素（１０３、１０９）が、前記レーザ（１０３）から前記光導電体（１１３）までの光学経路の一部を定義する平面ミラー（１０９）をさらに備え、前記ノイズ発生器（３０３、３０６）が、前記平面ミラー（１０９）に機械的に結合されたことを特徴とする請求項２に記載のシステム。

【請求項７】

前記ノイズ発生器（３０３、３０６）が、さらに、バイブレータを備えることを特徴とする請求項２に記載のシステム。

【請求項８】

画像の色平面を生成する方法であって、
前記レーザ装置（１０３）から光導電体（１１３）上の多数の所定の位置にレーザ・ビーム（１１６）を光学的に結合することと、
各々の前記所定の位置にランダム偏差（ＲＤ）を生成することと、
を有することを特徴とする方法。

【請求項９】

前記の、各々の前記所定の位置に前記ランダム偏差（ＲＤ）を生成することが、前記レーザ・ビーム（１１６）の光学経路を変化させることをさらに含むことを特徴とする請求項８に記載の方法。

【請求項１０】

前記レーザ装置（１０３）から前記光導電体（１２３）までの光学経路を平面ミラー（１０９）で部分的に定義することをさらに有し、
前記の、各々の前記所定の位置に前記ランダム偏差（ＲＤ）を生成することが、前記平面ミラー（１０９）にランダムな動きを生成することをさらに含むことを特徴とする請求項８に記載の方法。